



議会だより

令和5年3月定例会・全員協議会



水道水源予備的措置
水道枯渇に備えた蘭と妻籠間の水道管敷設工事



尾越工区
集落排水センター付近から蘭川左岸に仮橋を架け、
両岸に工事ヤード構築中

議会の眼：

リニア計画に伴う工事が
町内で行われています。

国道256号の蘭と妻籠
間での水道管理設（写真
左上）。尾越非常口の工事
ヤード施工（写真右上）で
は、余剰土を町道十二兼線
改良によって生じた土取場
の穴埋め（写真下2枚）に
運んでいます。



土砂採掘跡地1月の状況



土砂採掘跡地3月の状況

十二兼

広瀬地域振興協議会会長　志水　保仁さん

シリーズ「聞いて私の思い」… 33P

- 「空家利活用推進補助金要綱」の改正
- 住民票の写しなど諸証明書のコンビニ交付
- 入札制度の適正化

★全員協議会

32P

★木曽広域連合議会報告

31P

★松塩筑木曾老人福祉施設組合 議会報告

30P

★令和5年3月補正予算

29P

★一般質問

…9人の議員が質問…

24P

★請願・陳情

23P

★令和5年度当初予算

20P

★3月定例会可決議案一覧

19P

3月定例会

19P

○3月定例会は、3月7日から3月23日まで17日間
の会期で開かれました。

令和5年 3月定例会 可決議案一覧

予算関連議案			賛否
●令和5年度 当初予算	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計予算総額：40億9,800万円 (前年度比較 4.6%増) 特別会計予算総額：4億3,553万4千円 ※事業会計については今月号10Pをご覧ください。 	審議内容 掲載P20	賛成 多数
●令和4年度 補正予算	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計の補正是9,388万円減額し、総額42億6,277万1千円となります。(他会計の補正金額は30Pの一覧表参照) 	審議内容 掲載P29	全員 賛成
一般議案			賛否
●令和4年度町道妻籠町中線美装化工事(3工区)請負契約の締結	<ul style="list-style-type: none"> 契約の方法：指名競争入札 契約金額：4,727万8千円(税込) 契約の相手方：世紀東急工業株式会社 木曽営業所 	全員 賛成	
●南木曽町辺地対策総合整備計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度が計画の最終年度となったことから、令和5年度からの5か年計画を新たに策定するものです。 	全員 賛成	
●長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	<ul style="list-style-type: none"> 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体が脱退及び名称変更することに伴い、規約の一部を変更するものです。 	全員 賛成	
●木曽広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄	<ul style="list-style-type: none"> 木曽広域連合の事務・事業は、ふるさと基金の一部を取り崩して財源充当をするため、木曽広域連合ふるさと基金条例に規定する基金の処分にあたり、南木曽町の出資分のうち102万2千円の権利を放棄するものです。 	全員 賛成	
同意案件			賛否
●固定資産評価審査委員会の委員の選任	<ul style="list-style-type: none"> 樋口 信雄(再任)：南木曽町読書 	全員 賛成	
●教育委員会の委員の任命	<ul style="list-style-type: none"> 久保尻 千鶴美(新任)：南木曽町田立 	全員 賛成	
質問案件			賛否
●人権擁護委員候補者の推薦	<ul style="list-style-type: none"> 宮川 恵美子(新任)：南木曽町読書 平林 輝雄(新任)：南木曽町吾妻 	全員 賛成	
条例議案			賛否
●南木曽町個人情報の保護に関する法律施行条例(新規)	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護に関する法律等の改正に伴い、現在の「南木曽町情報公開及び個人情報保護に関する条例」を廃止し、新法の施行に伴い必要な事項を新たに定めるものです。 	賛成 多数	
●南木曽町情報公開条例(新規)	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護に関する法律等の改正に伴い、現在の「南木曽町情報公開及び個人情報保護に関する条例」を廃止することから、新たに情報公開に伴い必要な事項を定めるものです。 	賛成 多数	
●南木曽町消防団条例の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> 入退団により、機能消防団員数を「36人」から「39人」に改定するものです。 	全員 賛成	
●南木曽町国民健康保険税条例の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> 令和9年度の二次医療圏単位での保険税水準統一化に向け、税率等を改定するものです。応能負担(所得割)と応益負担(均等割、平等割)の比率を令和9年度に49:51になるよう年々改定します。 	全員 賛成	
●南木曽町営住宅等に関する条例の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> 公営住宅長坂団地1棟1戸を公営住宅から単独町営住宅へ用途変更することや、除却した住宅の削除などを行うものです。 	全員 賛成	
委員会発議			賛否
●南木曽町議会の個人情報の保護に関する条例(新規)	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護に関する法律等の改正に伴い、議会における個人情報の取り扱いについて新たに条例で定めるものです。 	賛成 多数	

令和5年度 当初予算審議概要

一般会計予算40億9,800万円、特別会計予算4億3,553万4千円を採択しました。
※詳細内容は、広報なぎそ今月号8～10Pに掲載

総務課

て活用を望む。

●電気・ガス代の高騰

●電気・ガス代の高騰による予算への影響

A 昨年度に比べ、28%の増額となっています。

●防火水槽の管理

●設置する防火水槽は誰が管理するのか。また、水量が分かりにくいためメーターを取り付けはどうか。

A 設置するのは40tの地下式防火水槽で管理は地区に依頼していますが、消防団も点検などするため問題ないと考えます。

●意見 標準化システム

●Q 大野正兼集会所に設置する防火水槽は誰が管理するのか。また、水量が分かりにくいためメーターを取り付けはどうか。

A 設置するのは40tの地下式防火水槽で管理は地区に依頼している。自然水利を整備したい。

●要望 火事の際に防火水槽だけでは心もとない。自然水利を整備し

もつと元気に戦略室

住民課

討していく必要がある。

いません。

(注:リニア関連は別項)

●地域おこし協力隊

●地域おこし協力隊の採用状況は。

A 4月採用が1名、中途採用で1名となりました。

A 4月採用が1名、中途採用で1名となりました。

(注:リニア関連は別項)

●地域おこし協力隊

●地域おこし協力隊の採用状況は。

A 4月採用が1名、中途採用で1名となりました。

A 制度の改正について具体的には決めていませんが、周知方法や支援内容など、継続して検討していく考えか。

A 制度の改正について検討していく考えか。

A 町が先行して行っている出産支援について、国の補助が42万円から50万円に引き上げられる。次は出産費用の全額支援などの施策を行ってはどうか。

A 他町村でも子育て支援の様々な施策を考

えてます。出産費用は個人差もあることから、もう少し検討する必要があると考えます。

A 町では放課後等デ

イサービスではないが、必要な児童の預りを地域活動支援センター

「のどか」で行っています。

A 町において、障がいを持つ子どもたちのデイサービスの事例はあるか。

A 町では放課後等デイサービスではないが、必要な児童の預りを地域活動支援センター

「のどか」で行っています。

A 自治体の努力に足を引っ張る国のやり方はおかしい。頑張って拡充してもらいたい。

A 自治体の努力に足を引っ張る国のやり方はおかしい。頑張って拡充してもらいたい。

A 自治体の努力に足を引っ張る国のやり方はおかしい。頑張って拡充してもらいたい。

えます。

城山団地の約15haです。

要望 今後、利益の上

がる農業の育成は重要な
である。6次産業化を
推進し、後継者の育成
につながるよう積極的
なバックアップを求める。

要望 家畜などの飼料
が高騰しており、引き
続き助成を望む。

●農地圃場整備

Q 耕作条件改善対策

A 事業の対象面積や件数は、
9ha所25aで計画
しており、事業費は70
0万円を予定しています。

●意見 遊休農地を増や さないためにも、農事 懇談会などで説明し、 活用を進めてほしい。

●森林經營管理整備事業

A 現在3地区116
haを調査し、そのうち
2地区62haは、管理を
町へ移行しています。
経済林として事業者
に管理を再委託したのは、
ころです。

れています。引き続き
支援を行います。

の修繕が進んでおらず、
中山間地交付金では修
繕費用もまかなえない。
地域の実情に合った町
道基準の見直しの検討
はどうなっているか。

A まだはつきりした
結果は出ていません。
農道の町道への格上げ
については、町内全体
で再度見直し、産業觀
光課とも協議しながら
検討していきたいと思
います。

A 国も下水の種類に
より管轄する部署が違
うので調整が必要です。
将来的には状況に応じ
て処理ができるよう考
えていきたいと思いま
す。

Q 観光協会への補助金
は、毎年1000万円計上され
ている。設立から自立を目指し3
年以上経過するが、今
後も同じように補助す
るのか。

A 自立していくことは
大事なことです。コロナ禍で観光産業が
厳しいこともあります。実
施計画の通り当面この
ような支援を行いたい
と考えています。



Q ●商工費の補助金
●商工費の小規模事
業補助金が昨年比10
0万円程増額の理由は。
A 町の事業者数減少
による県補助金の減額
100万円を補填する
ため増額しています。
商工会はコロナ禍に
おいて地域に密着した
支援機関として重要性
が増し、さらなる小規
模事業者支援が必要で
す。また、リニア地域
づくり委員会活動への
補助も予定しています。

Q ●住宅の施設修繕費
●町営住宅の修繕費
は全て町が負担するのか。
A 個人の責任による
修繕以外の設備購入な
どは町負担になります。

Q ●タブレット端末の活
用状況

A 小中学校の全児
童・生徒に配布されてい
るタブレット端末の使用
状況は。



●下水処理の方法

Q 下水処理センター
へ運んでいるが、町内
の処理場へ持ち込めば
コスト削減になるので
はないか。災害時など
の緊急事態に備えて町
の施設を使うことも含
めての検討はどうか。

A コロナ禍でも学校
の授業を受けられるよ
う一人一台タブレット
を導入しましたが、現
在は通常の授業でも
有効に活用しています。
子どもたちも意見発表
やコミュニケーションに
タブレットを活用し
ており、新しい学習方
法のひとつとして活用

建設環境課

Q ●町道基準の見直し
(注:リニア関連は別項)
●住宅があつて生活
道路になつている農道

の修繕が進んでおらず、
中山間地交付金では修
繕費用もまかなえない。
地域の実情に合った町
道基準の見直しの検討
はどうなっているか。

Q ●教育委員会

A コロナ禍でも学校
の授業を受けられるよ
う一人一台タブレット
を導入しましたが、現
在は通常の授業でも
有効に活用しています。
子どもたちも意見発表
やコミュニケーションに
タブレットを活用し
ており、新しい学習方
法のひとつとして活用

(当初予算審議)

しているように感じます。また、家庭での利用も進んでおりますが、通信環境などの問題は報告されていません。

ルなども少なくなっています。

要望 休園になる蘭園で子ども教室が開催できないか検討してほしい。



増築して2部屋になった放課後子ども教室

●放課後子ども教室

町には放課後子ども教室があるが、休日などに子どもを見守りができる場所がない。

A 実施内容は保護者が説明会で説明していますが、休日に利用したところの要望は今のところいただいていません。

Q 子ども教室の建物拡張による状況の変化は。

A 増築によって低学年と高学年や、学習と遊びなどの区分ができるようになり、トラブルが多くなっている。1人当たりの年間給食費や、町補助額は。

●学校給食支援

Q 実施計画で学校給食費が360万円から1199万円と大幅な増額となっている。1人当たりの年間給食費や、町補助額は、小学校で約5万7千円、中学校で約6万4千円です。これを小中学校とともに

A コロナ以前の保護者負担額は、小学校で約5万7千円、中学校で約6万4千円です。これを小中学校とともに

●高校の通学路

Q 蘇南高校の通学路改善は検討しているか。

A 公安委員会から、歩道の位置を変更することや、横断歩道の設置は難しいと言わっています。



妻籠宿の町並み

●ファミリーサポート制度

Q 制度の活用状況は、また、一人でも要望があれば対応できるのか。

A 現在利用者がおらず、支援していただけない状況ですが、利用希望があれば事前に説明して対応したいと思っています。

●スクールバスの運行

Q 小学校スクールバスの運行費の増額理由は。

A 運行ルートの変更に伴い、渡島・神戸地区の児童を乗せるバスを新たに運行するためです。

●重要伝統的建造物群保存事業

Q 令和5年度の保存

A 上の原地区の中山道歴史の道の修繕事業は計上されているか。

A 建設環境課で町道修繕事業として実施する予定です。

●リニア関係

Q 中山道の石畳を一部取り外せないかと要望したが、検討中の保存活用計画はまとまりたか。

A 小中学校は児童生徒・職員数が多いため、学校給食会のパンを提供していますが、こども園では地元業者のパンを提供しています。

A 1月にパブリックコメントをまとめ、文部科学省から指摘された部分を修正して印刷をしています。内容は6月議会で説明します。

A 上の原地区の中山道歴史の道の修繕事業は計上されているか。

A 建設環境課で町道修繕事業として実施する予定です。

●リニア工事に係る環境調査費用102万円余は、水道の調査なのか。

A 町が独自で行っている水量観測で、妻籠地区、馬籠峠、広瀬地区の6ヶ所で調査しています。

●予備的措置の課題

Q 山口工区ではトン

要望 注意喚起として看板の設置を要望する。

事業を予定している3件か。

A 中町地区の店舗、寺下地区の住宅屋根、上町地区の土蔵です。令和6年度以降の実施予定は15件あります。

●情報提供に関する取り決め

Q 妻籠水道水源に関しては、県知事が示した条件の情報提供の項目で、「工事に関する情報」を積極的に提供するとともに、南木曾町と情報提供の方法手段等について取り決めを行うこと」となっている。

A 具体的な取り決めができていない状況です。トンネルは町まで約1000mのところに来ており、早いうちに取り決めたいと考えています。

●情報提供に関する取り決め

Q 妻籠水道水源に関しては、県知事が示した条件の情報提供の項目で、「工事に関する情報」を積極的に提供するとともに、南木曾町と情報提供の方法手段等について取り決めを行うこと」となっている。

A 具体的な取り決めができていない状況です。トンネルは町まで約1000mのところに来ており、早いうちに取り決めたいと考えています。

議会だより

● 残土・盛土への対応
Q 阿智村での話し合いで、JR 東海が、「残土地盤の管理基準については社内でも統一するもので開業近くにならないと示せない」と発言したとの新聞記事がある。また、県の盛土条例との関連も新しく出てきている。

● 町道改良後の状況
Q リニア関連で町道改良した箇所で、棚橋線は擁壁からの湧水が冬に凍結し、十二兼線ではのり面の防草シートの抑え金具が飛び出た状態になっている。

要望 若い公務員が辞めていく話は、心配なところもある。カウンセリングなども行い、なるべく最後まで町を良くしてもらうため勤められるよう願う。

● 残土・盛土への対応
Q JR は、盛土の規模や場所によって基準を作っていくものと思われます。会社の責任を検討しており、施工中の管理などについて対策協議会や説明会で明言するよう話しています。

● 調査設計の段階に管理の行く末まで考えるのは当然の話で、今この段階で設計に反映する部分もあるかと思いますが、最終的に設計できたものが、盛土条例の審査にかかることがあります。

Q 若い職員の退職が多いと聞くが、どうにとらえているか。
A 職場環境が原因ではないと確認をしています。役場職員として使命感を持つ業務に当たれる、より働きやすい職場の構築に向けて取り組みたいと考えています。

● 町の水の問題で、代替水源から既設管までは仮設管を積み置いて、もし水が減つたら配管の準備をするという話だが、予め繋げて水が通るように試験しておるべきではないか。

A 町からは、大雨では定かでないが去年より川の水が減っているように感じるとの声がある。

● 町の水の問題で、代替水源から既設管までは仮設管を積み置いて、もし水が減つたら配管の準備をするという話だが、予め繋げて水が通るように試験しておるべきではないか。

A JR は、盛土の規模や場所によって基準を作っていくものと思われます。会社の責任を検討しており、施工中の管理などについて対策協議会や説明会で明言するよう話しています。

A 棚橋線は町の管理となります。施工 JV と現地を確認し、修繕など必要がある場合には JV と協議します。V と現地を確認し、施工 JV が手直しをしています。

その他

A

A 施工後の管理責任は、棚橋線は町の管理となります。施工 JV と現地を確認し、修繕など必要がある場合には JV と協議します。

請願・陳情

● L P ガス料金上昇に対する直接的な負担軽減対策を求める陳情書

提出者 一般社団法人 長野県 L P ガス協会

宮川 浩

趣旨 地方創生臨時交付金を活用した L P ガス高騰対策や、影響を受けている生活者や事業者への直接的な支援を求める。

結果 採択（執行部送付）

● 令和5年度税制改正に関する提言ならびに法人市町村民税（法人税割）の標準税率採用の要望について

提出者 一般社団法人 木曽法人会

会長 大沢 謙一 外2名

趣旨 法人企業の税負担を軽減するため、法人市町村民税（法人税割）の標準税率採用に対し早急な取り組みを求める。

結果 不採択

● 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

提出者 コドソラ 代表 与那城 千恵美

趣旨 米軍機による学校上空の飛行禁止や、行政の責任による小学校内の土壤調査の実施などを求める。

結果 趣旨採択

● 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

提出者 長野県労働組合総連合

議長 細尾 俊彦

趣旨 最低賃金法を全国一律制度に改正することや、最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように中小企業や農林水産業への支援策を抜本的に拡充・強化することを国に求める。

結果 採択（意見書送付）

● 防衛予算の倍増と「反撃能力」保有を決定した政府方針の撤回と平和外交への努力を求める意見書の提出を求める陳情書

提出者 戦争はいやだ南木曽の会 代表 上平 淳

南木曽九条の会 代表 伊藤 伸三

趣旨 国民不在の防衛費増額の閣議決定や、これまでの「専守防衛政策」を大転換して敵基地を先制攻撃できるような政策変更を撤回し、平和外交へ一層努力することを国に求める。

結果 趣旨採択

3月定例会

9人の議員が一般質問



◆矢澤 和重 議員

- ・サテライトオフィス整備事業の詳細は
- ・定住対策 具体的な取り組みは

◆近藤 隆 議員

- ・脱炭素社会に向けて身近な取り組みを

◆高橋 進 議員

- ・成人お祝い行事の見直しを

◆早川 親利 議員

- ・リニア中央新幹線開業を見据えて
- ・蘇南高校生考案の商品活用を

◆田中 晃 議員

- ・知事対話集会における住民意見を受けて
- ・中山道の保存と活用計画

◆坂本 満 議員

- ・人口減には、集約化・効率化でなく小さな拠点と手間の増加を
- ・憲法を生かし平和への準備を

◆松原 崇文 議員

- ・農業支援のさらなる充実を

◆赤坂 孝 議員

- ・蘭・田立分園 令和5年度の運用は
- ・親子ふれあい公園の整備計画

◆伊藤 寿子 議員

- ・木曽あすなろ荘の今後のあり方を町はどう考えるか
- ・リニア尾越工区の盛土に関する要望書

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

サテライトオフィス 整備事業の詳細は

Q 昨年3月の一般質問において、新型コロナウイルス感染症の影響で都

市から地方への移住・移転が進んでおり、旧田立小学校をサテライトオ

フィスとして活用するな

ど、起業誘致を考えては、

と質問した。

施政方針の中でも、都

市から事業者を呼び込む

ために検討を進めてきた

サテライトオフィス整備

事業について、デジタル

田園都市構想交付金事業

を活用しながら誘致につ

ながる取り組みを目指す

とあり、新年度予算にも

Q 施政方針にもあると
おり、定住対策は人によつて目的や考え方が異

なるため、特定の施策だけでは定住に結びつかない側面があり難しい課題

である。地方創生総合戦略会議を中心に取り組ん

でいくものと思うが、具

体的にどのような取り組みを行っていくのか。

A 地方創生検証会議で

は行った事業の検証を、

方で検討しており、併せて施設利用の促進や企業誘致も行っています。

Q 企業の誘致は、具体的にどのように行うのか。

A まず南木曾を知ってもらうことが重要となるため、PRイベントや企

業が主催するマッチングイベン

トなどに町として参

加することを考えてい

ます。また、お試しで利

用していただき体験ツ

アーノども企画していく

たいと考えています。

参加することを考えて

いる。また、後ろの取り組みについて意見をいただいています。

こうした意見を基に、実

施計画へ反映していく取

り組みを行っています。



矢澤 和重 議員

Q 成功している自治体

は共通して移住・定住を

推進する専門の課がある。

Q 委員の方と相談をし

ながら検討していく

と思います。

A 町も専門課を創設しては

どうか。

A 職員の業務分担など

を検討したいと思います。

脱炭素社会に向けて 身近な取り組みを

リサイクルストックヤードへの 小型家電の持込件数

王滝村	114	上松町	471
木祖村	222	大桑村	303
木曽町	1,634	南木曽町	116

※令和4年1月～12月

● 脱炭素対策にコンポスト・生ごみ処理機を設置する

Q 世界各地で温暖化による豪雨や洪水、猛暑による山林火災などが頻発している。施政方針に気候変動対策として脱炭素化の取り組みを研究するところがあるが、その内容は。

A 地球温暖化対策を推進するために「地方公共団体実行計画」を策定し、ゼロカーボンシティへの取り組みを今後進めてい

Q 昨年、ごみ減量化のためコンポスト・生ごみ処理機の購入補助を要望したが、その後の対応は。

A 検討を進めています。

● 小型家電製品と粗大ごみのストックヤード設置を

Q 昨年1月、木曽町に木曽広域リサイクルスマートカードヤードが開設された。各町村からの小型家電製品の持込件数は。

A 表のとおりです。

Q 粗大ごみの処理を木曽広域クリーンセンターと同じように受け入れできないか。

A 木曽広域クリーンセンターと協議します。



近藤 隆議員

成人お祝い行事の見直しを

Q 近年、成人年齢の改定などによって改めて成人式のあり方が注目されおり、昨年町でも成人式の開催時期に関するアンケートを中高生やその保護者など220名を対象に行つた。その結果189名からの回答があり、1月の開催を希望する声と8月開催を希望する声がほぼ半々であった。

2月の全員協議会では、この結果を踏まえて今まで通り8月14日に成人式を開催することについて教育委員会から説明があつたが、もう少し町に格差が生じないようお願いする。

Q アンケートの対象範囲を小学生などに広げて再度行うという考えはなかつたか。

A 成人にある程度近い年代を対象として行つてものを変えようとした際に参考とするため行つたものであるため、変えなければならない特段の事情が無いことや、冬・夏の結果が同数だったことから現状維持としました。

Q 昨年はコロナ禍により夏・冬の2回にわたつた。アンケートの結果については、昨年の9月議会で示しながら意見を伺う中で、最終的には教育委員会に諮って方針を決めます。

A 服装に対するご意見などはありませんでした。式典の名称について

Q 教育委員会の決定事項であるとのことだが、内部会議での賛否は。

A 教育委員4名それぞれから様々なご意見がありましたが、全員の確認をいただきました。

A 今後教育委員会で検討していきます。

Q 意見 半数の声が冬に開催することを望んでいる。もう少し声を聞いても良いのか。また、昨年冬に開催した際には着物が着られて良かった、との声もあつた。着物については費用がかかるとの意見もあるが、現在は記念写真を残すために前撮りをする人も多いと聞く。また、名称については一考すべきと考



高橋 進議員

リニア中央新幹線開業を見据えて

一緒にになって推進していく
きたいと考えます。

意見 行政が中心となり、
商業・宿泊・観光の関係者・旅行業者などで構成する委員会を立ち上げてはどうか。



早川 親利 議員

Q 施政方針にリニア中央新幹線工事や開業を見据えた取り組みを推進するあるが、具体的な取り組みは。

A 国道19号などの整備促進によるアクセス改善や、都市部からの移住対応、サテライトオフィス計画など、すでに色々な計画が動き始めています。令和5年度は南木曽町リニア活用基本構想を基に政策を明確にしながら、リニア効果を見据えた町づくりを進めます。

Q 「広報なぎそ」3月号で、蘇南高校生が考案したお弁当が「第9回お弁当コンテスト」で優秀賞を受賞したと紹介され引き続き商工会などの関連団体に声をかけながら

蘇南高校生考案の商品活用を

Q 町が中心となつてリニアの利活用を考える委員会を立ち上げる考えはないか。

A 事業者などが中心となる期成同盟会や利活用推進協議会に、町が支援できれば良いと考えています。リニアの活用についてはこれまで商工会へ働きかけを行っており、引き続き商工会などの関連団体に声をかけながら

Q 今後は工事が進むことと、リニアを活かして取り組みが重要。しっかりと進めてもらいたい。

意見

町内の店舗やイベントなどで販売してもらい、町でパンフレットやのぼり旗を作成するなどを宣伝して南木曽の名物にしてもらいたい。

2月9日の知事対話集会で出された意見

- ・飲食店などが少なく、買い物や病院など町外でお金を使うことが多い。町内で経済を回す努力が必要では。
- ・町内の事業所でも、町外からの通勤者が多い。南木曽町に住みたい人が少ないのはなぜか考える必要がある。
- ・地域おこし協力隊を見ても、町に残る人が少ない。移住者の定住に対する町の努力が不足してないか。
- ・図書館など文化施設が少ないので充実させてほしい。

Q 2月9日に阿部知事との対話集会が開かれた。集会では町民から多くの意見や要望が出され、南木曽町が暮らしやすい町として評価されていないことを指摘する意見も複数あった。これらの意見についてどう応えていくか、町の考え方を伺う。

A 町民の皆さんからは、生活に密着した問題提起がされたものと受け止められました。これらは、町の考え方を伺う。町の考え方を伺う。

Q 町の優先課題である人口減少や少子高齢化に対しても、まだまだ有効な対策が打たれていない。移住者の受け入れや観光産業の育成など、関係団体が一体となって取り組んで、このような積極的な行動を望みたい。

A 商工会や観光協会と連携し、それぞれの役割分担の中で同じ方向を向いて進むことが大切と考えます。

Q 中山道の文化財としての価値を明確にしながら、町でも令和2年度からそのまま掘削するようJR東海に提案できないか。

A お弁当や饅頭については、地元の事業者と新たな商品を試作していると聞いています。販売については、今後飲食店や菓子製造業者の協力により、事業展開できるよう商工会と進めていきたいと思います。

知事対話集会における住民意見を受けて

ています。政策を進める上で皆さんの意見を参考にさせていただき、要望に応えられるよう日々努力していきたいと考えています。



田中 晃 議員

Q 日本遺産中山道の保存と活用について、木曾

Q 中山道の保存と活用計画

Q 「広報なぎそ」3月号で、蘇南高校生が考案したお弁当が「第9回お弁当コンテスト」で優秀賞を受賞したと紹介されている。町で応援してもらいたい。

Q 中山道の文化財としての価値を磨き上げ、アピールすることで観光客を呼び込み、お金を使ってもらうことで町が潤うことが重要だ。観光協会などと連携しながら活用を進めてほしい。

広域連合では委員会を立ち上げて協議しているが、町でも令和2年度から「国史跡中山道の保存と活用計画」の策定に向けて委員会を設置していると聞く。計画の内容は、国史跡である中山道について、文化財としての価値を明確にしながら、町でも令和2年度から「国史跡中山道の保存と活用計画」の策定に向けて委員会を設置していると聞いています。計画の内容は、

人口減には、集約化・効率化でなく小さな拠点と手間の増加を



坂本 満 議員

Q 国は人口減少の中でも集約化を進めているが、私たちのいる場所では集約化ではなく近くで集まる拠点を増やすことの方が大事であり、効率化よりも手間をかけることの大変さが求められるのでは。

A 地方と国の発展を考えたとき、一極集中に限

らず地方にも目を向けるタイミングがあったと思いませんが、舵を切りきれなかつたというのが日本今であり、未来を見据えたときの大きな課題の一つになっていると思います。

Q リニア計画の記録保存を記録保存はどうするか。

A リニア工事は長期間にわたる事業であり、記録資料なども一定の量になると考えています。水源の保全など住民生活に直結する事柄も含んでいたため、基本的には永年保存という扱いになると考えていました。

農業支援のさらなる充実を



松原 崇文 議員

Q 町の特産品の開発や、販売所などの販売ルートをどうする。

A 令和4年度は158件の申請があり、合計金額112万2600円の補助を行いました。

また、4月から農地法が改正され下限面積要件が無くなることから、小規模な面積でも農地を取得できるようになります。これを機に、たくさんの小さな農家で農業を守つていく流れを作つていければと考えています。

Q 特産品の開発については、運営を担う母体を確保する中で、建設の検討や補助金の活用などを考えていく必要があります。

A 農薬とともに購入量を減らしていく農家もみえる。品質・収量を確保するためにも、継続的な支援をお願いしたい。また、南木曽町のような山間部では、害虫による被害も少くない。農薬への支援もお願いしたい。

Q 稲作について、町所有の機械の貸し出しを検討してほしい。

A 今年度の補助金は国が地方創生臨時交付金を活用しているため、来年度以降は国の動向を見ながら、農薬への支援も含めて検討していきます。

Q 課題も多いと思いますが、中山間組織での共同購入などにつながっていくよう検討していきたく思います。

A 設置場所について、観光客が訪れる場所にも設置してもらえないか。

Q 野菜の自動販売機の設置場所について、観光客が訪れる場所にも設置してもらえないか。

A 妻籠宿など、観光客の集まる場所は有効です。県や農業委員会とともに新規就農につながるよう引き続き支援体制を整えます。



蘭・田立分園 令和5年度の運用は

こども園の開園は令和4年度で最も喜ばしい出来事であったが、開園して1年で蘭・田立分園の未満児や一時預かりが難しいと聞いている。両分園における来年度の計画は。

A 両分園とともに、令和5年度の未満児保育の利用希望はありませんでした。田立園は24名程度の一時預かりなどを想定していますが、蘭園は休園点施設として、引き続き園外行事や遠足などに活用していく予定です。また、今後は両園を活用しつつ、町内の色々な場所へ出向いていけるよう計画しています。

A **Q** 蘭園の運用と管理は、教育委員会で維持管理を行います。ガスは一時休止し、園外行事などで利用する際には必要に応じて水道やトイレなど遊具、東屋などの設置を

を利用できるよう検討していきたいと考えます。

要望 蘭園の有効利用について

ついて、早期に計画立ててもらいたい。



赤坂 孝 議員

親子ふれあい公園 の整備計画

A **Q** 親子ふれあい公園の整備について伺う。安心で親しみの持れて出向いていけるよう計画しています。

A **Q** 親子ふれあい公園の整備について伺う。安心で親しみの持れて出向いていけるよう計画しています。

A **Q** 保育士の意向も聞きながら対応をお願いしたい。

A **Q** 総合コミュニティの場とするために、周辺に買い物や食事ができる場所を作るような考えはあるか。

A **Q** 今回の整備は特に園児・児童をターゲットにしているため、現時点ではそういう計画はありません。

A **Q** 児童の心をつかむために、どのようなことをしているか。

A **Q** 大型遊具に求める機能などについて保護者を対象にアンケートを行っています。意見が反映されたものを設置できればと思います。

要望 町内外から訪れた

水を使った遊び場や大型遊具、東屋などの設置をしてもらいたい。

木曽あすなる荘 今後のあり方を町はどう考えるか

A 昨年11月に行われた松塙筑木曾老人福祉施設組合の全員協議会において、町議会で出た意見など6項目にわたる質問を行い木曽あすなる荘の存続を訴えてきたが、2月全協では定員数の段階的な引き下げという具体的な形で「組合施設の方に関する指針」が示された（関連記事30P）。

A 建物の老朽化や介護人材・待機者の減少など課題が多いが、組合理事者でもある町長は今後の方についてどのように考

A **Q** 諸課題については町も組合と共に調査・研究などを実行してきましたが、結論には至っていません。

A **Q** 今後の木曽管内の状況を見れば規模縮小はやむを得ない部分もありますが、当面は維持しながら小規模の介護施設として運営していく必要があると考えてています。

A **Q** 令和5年度は町から木

曾あすなる荘へ所長と会福祉士の2名を派遣するなど人的支援をしながら、今後の対応策を考えていきます。



伊藤 寿子 議員

リニア尾越工区の盛土に関する要望書

A **Q** 昨年のJR東海による説明会を受けた住民の意見として、妻籠地域振興協議会から町へ要望書が提出された。尾越工区の盛土に関する不安のほか、今後は町の主導で交渉を進めてほしいとの意見もあつた。町の考え

A **Q** 要望を受け、特殊精土の搬入について見直すようJRと交渉に入っているところです。

A **Q** また、他の4箇所の候補地についても、構造物を利用して押出の崩落箇所を直すこと、ホテル裏などの緑化、工事完了後

的な管理の明言などを要

望として伝えていました。

補正予算審議概要

令和5年3月補正予算（一般会計、特別会計、事業会計）が審議され、全会一致で可決されました。補正予算概要を次ページの表に示し、審議の主な質疑を掲載します。

●路線バス時刻表の改善

Q バスの時刻表が配布されたが、文字が小さく見づらいとの意見がある。

A 多くの路線を1枚にしてあるので、小さくなっています。路線ごとにするなど検討したいと思います。

Q ●運転免許証の返納
Q 南木曽町交番に本人以外は受付できないため、木曽町の本署に行くように言われた。交番で受付はできないのか。

A 本人の申請のみを受け付けています。
要望 代理人でも交番で受付できるようになっていただきたい。

宅地造成事業

Q 宅地造成の計画は進んでいるか。

A 現在、神戸地区で小規模な宅地造成計画を進めており、田立地区でも計画があります。

Q ●運転免許証の返納
Q 南木曽町に家を建てる人が運転免許証返納に行つた際、本人以外は受付できないため、木曽町の本署に行くように言われた。交番で受付はできないのか。

A 岸道路工事十一兼地区対岸の右岸道路工事の進捗状況は、長野県により仮橋の工事が進んでいます。2つのトンネル間の明かり部分の道路用地に

ついては買収が完了しており、道路用地以外で埋め立てて平らになります。

●肥料高騰対策補助金の減額理由は。

A 肥料対策158件

112万円、飼料対策11件63万円の支援をしました。

手間、片付けなどの管理も必要です。民間の事業者で処理木が扱われ、希望者に繋がっていけばと思っています。

●社会体育館の工事

Q

当初の予算計上は農地面積で算出しましたが、補助対象を1万円以上使用の農家等にしたため、申請件数は減りました。

●国道19号危険木伐採

Q

国道19号二三石油店山側の危険木を伐採したが、旧鉄道敷付近に立木が残っているので

Q 地元では林道を一刻も早く利用したいとのことで、原因を調査して早急に工事を実施してほしい。

Q ●サルの捕獲檻
サルの大型捕獲檻

A 計画した通り完了しました。伐採した木は、早急に希望者に配布します。

●処理した木の活用

Q 町の処理木を、町が恒常にストックして希望者が順番を持つて行けるシステムは。

A 処理木の有効活用のためには、広い場所の確保、受け渡し等の

1本前の電車で帰ることになったことにより、田立駅への保護者の迎えが対応できなかつたことがあつたと聞く。

●LED化の社会体育館

Q

A LED工事はほぼ初2260万円で落札しているが、今回は資材納入の遅延による繰越明許費補正と追加事業を併せ限度額合計の3600万円としたのは、年度内に終わる予定ですが、元々予定していた非常用発電機の設置を追加するため今回繰越正としました。

Q

親子ふれあい公園の工事の状況は。

A この工事は、当初水場、東屋の増設とフェンス取り換え工事であつたものを、フェンス取り換え工事のみで入札した結果、コロナなどで応札者が1社のみとなつたため延期しました。その後、再



田立地区の通学電車通学で、予定より

令和5年3月補正予算 (3/23決)

**一般会計補正予算
9,388万円を減額**

総額 42億6,277万1千円に

●一般会計・特別会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計 (第7号)	△ 93,880	4,262,771
国民健康保険特別会計 (第5号)	13,114	413,887
宅地造成事業特別会計 (第1号)	△ 2,520	1,567
後期高齢者医療特別会計 (第3号)	1,370	80,156

●事業会計補正予算 (単位:千円)

会 計	補正額	補正後の金額
簡易水道事業会計 (第5号)		
収益的収入	△ 150	155,953
収益的支出	△ 900	151,202
資本的収入	△ 138,036	372,910
資本的支出	△ 137,364	444,811
浄化槽市町村整備推進事業会計 (第3号)		
収益的収入	△ 3,500	125,444
収益的支出	△ 4,532	118,506
資本的収入	△ 3,185	20,640
資本的支出	△ 2,287	42,615

**Q ●保育園の広域入所負担
保育園広域入所負**

度2月に入札しましたが、金額が折り合わず不落となっています。このため改めて令和5年度に実施します。

A 担金の減額理由は、南木曾から他町へとといった広域入所がありますが、今年度他町から南木曾へ広域入所を希望する未満児がいなためです。

報 告 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

2月13日に開催された2月定例会の主な内容は次のとおりです。

(注: 文中、組合は松塩筑木曾老人福祉施設組合を示す)

●令和5年度一般会計予算

予算総額42億1,000万円

前年度当初予算対比1.6% (7,000万円) の減。

●令和4年度一般会計補正予算 (第2号)

500万円を増額し、総額43億9,500万円となりました。退職予定者の増が主な理由です。

●条例改正について

組合情報公開条例・個人情報の保護に関する条例・職員の再任用に関する条例・定年等に関する条例・職員の給与に関する条例・長期継続契約に関する条例等、6件の一部(全部)改正・廃止がありました。

●財産の無償貸付けについて

通所介護施設(旧ききょうの郷)を塩尻市社会福祉協議会へ引き続き無償貸与します。

全員協議会

◆「組合施設のあり方に関する指針」策定について

第9期介護保険事業計画期間中の定員数案が下記表の通り示されました。(木曾郡のみ抜粋)

【第9期介護保険事業計画説明から】

耐用年数が経過した「四賀福寿荘」と老朽化と利用需要の低下がみられる「木曾あすなろ荘」の定員数を減らし、職員を他の施設へ分散して配置することが示されました。また、将来にわたる組合施設のあり方について、構成市町村や関係機関と連携して地域課題を分析していく時間を確保したい、という目的でした。

【質問と要望:伊藤寿子議員】

- ・利用者数の極端な減少についての疑問。
- ・人数が減った場合の建物の改修等、組合の考え方。
- ・木曾の3施設の統合ではなく、小規模になっても「木曾あすなろ荘」の存続を要望する旨、町とも一致しており、組合への協力を含めて引き続き協議をお願いする。
- ・地元の職員についてはできる限り移動がないように要望する。

介護保険事業計画 各年度の計画定員数	第8期			第9期 計画案								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	長期	短期	計	長期	短期	計	長期	短期	計	長期	短期	計
サニーヒルきそ	木祖村	70	5	75	65	5	70	65	5	70	65	5
なんてんの里	木曾町	62	8	70	62	8	70	62	8	70	62	8
木曾あすなろ荘	南木曾町	50	5	55	47	5	52	35	5	40	24	5

議会だより

報告 木曽広域連合議会

第1回定例会が2月28日に開催され、令和5年度予算、第6次木曽広域連合広域計画、指定ごみ袋の料金改定などが決まりました。主な内容は次のとおりです。

●木曽広域連合個人情報関係の条例制定

個人情報の保護に関する法律等の改正により、現行の木曽広域連合情報公開及び個人情報保護に関する条例の廃止に伴い、新たに以下の4つの条例を制定了。

- ・木曽広域連合個人情報保護法施行条例（新規）
- ・木曽広域連合情報公開条例（新規）
- ・木曽広域連合情報公開及び個人情報保護審査会条例（新規）
- ・木曽広域連合議会の個人情報の保護に関する条例（新規）

●木曽広域連合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正

ごみ袋料金及び持ち込み手数料の改定を10月から行う。

●木曽広域連合証紙条例の一部を改正

●木曽広域連合奨学資金貸付条例の一部を改正

若者定住のため奨学資金の償還を減免

●木曽寮の設置及び管理に関する条例の一部を改正

移転改築後の木曽寮を指定管理できる規定の追加

●木曽広域連合広域計画の変更

現行計画を変更し第6次計画を策定

●長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更

●木曽広域連合補正予算関係

・令和4年度一般会計補正予算（第5号）
3,525万2千円を減額し、総額38億1,234万6千円となりました。

・令和4年度介護保険特別会計補正予算（第4号）
93万3千円を減額し、総額41億5,655万9千円となりました。

・令和4年度下水道会計補正予算（第4号）
(収益的収支) 445万円を減額し、収支総額1億1,453万9千円となりました。

●令和5年度木曽広域連合予算（下表参照）

全員協議会

◆木曽クリーンセンター手数料改定について

指定ごみ袋製造コストの上昇、収集などごみ処理経費の増によるごみ袋料金等の改定。

◆自治体DX／ICT利活用計画について

5カ年計画で取組事業10項目、令和5年度は地域の道路・河川情報等の提供検討。

◆消防通信指令システムの共同運用について

飯田広域消防本部との広域連携・協力の体制を令和7年度目指して整備する。

◆木曽広域連合財務諸表の報告

令和5年度木曽広域連合当初予算 (単位:千円)			
会計区分	令和5年度	前年度	比較
一般会計	4,771,324	3,779,606	991,718
介護保険特別会計	4,098,281	4,052,424	45,857
総 計	8,869,605	7,832,030	1,037,575
公営企業会計	令和5年度	前年度	比較
下水道事業会計 (収益的収支)	132,429	116,727	15,702
下水道事業会計 (資本的支出)	23,886	23,565	321

議会の主な動き（12月定例会閉会以降を記載）

7日	3月	28日	22日	16日	13日	10日	9日	1日	2月	30日	27日	24日	11日	8日	6日	1月	22日	21日	19日	12月	
南木曽町議会3月定例会（～23日）	ト 集 会	南木曽町地域公共交通協議会	長野県町村議会議長会第36回定期総会	木曽広域連合議会第1回定例会、蘇 南高校南木曽町地域共創プロジェクト	リニア中央新幹線対策協議会	松塩筑木曾老人福祉施設組合議会	知事との県民対話集会	リニア新幹線対策特別委員会、議員 懇談会	南木曽町農業委員会と南木曽町議会 との懇談会、議会運営委員会	南木曽町右岸道路づくり委員会	議会報編集特別委員会	南木曽町消防団出初式	後藤大臣との行政懇談会	町村議会広報研修会	国道256号改良促進期成同盟会 長野県要望活動、（主）飯田南木曽線 改良促進期成同盟会長野県要望活動 蘇南高等学校地元市町村協議会	中央新幹線長野県駅（仮称）新設安 全祈願祭・起工式	長野県要望活動、（主）飯田南木曽線 改良促進期成同盟会長野県要望活動 蘇南高等学校地元市町村協議会	中央新幹線長野県駅（仮称）新設安 全祈願祭・起工式	国道256号改良促進期成同盟会 長野県要望活動、（主）飯田南木曽線 改良促進期成同盟会長野県要望活動 蘇南高等学校地元市町村協議会	中央新幹線長野県駅（仮称）新設安 全祈願祭・起工式	国道256号改良促進期成同盟会 長野県要望活動、（主）飯田南木曽線 改良促進期成同盟会長野県要望活動 蘇南高等学校地元市町村協議会

全員協議会

(2月16日、3月7日)

議会と町の意見交換

全員協議会とは…

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行なうための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長の招集により開催し、公開を原則とします。

「空家利活用推進補助金要綱」の改正

【説明概要】

現在の「空家利活用推進補助金要綱」を改正し、新たに空店舗を補助対象とすることについて説明がありました。令和5年4月の施行を予定しています。

- 1階が店舗、2階が住居の場合、空家と空店舗の両方に修繕費の補助が出るのか。
- 片付けに関する補助金は、所有者だけに支払われるのか。利用者が片付けを行った場合はどうなるのか。
- 空店舗を活用して町内で起業してもらえば町の活性化につながる。店舗修繕の補助金額は上限が50万円となっているが、上限を上げる議論はなかったか。
- 空店舗にも空家と同様の補助金が出るようになる。良い改正だと思う。

住民票の写しなど諸証明書のコンビニ交付

【説明概要】

令和4年12月議会の全員協議会を踏まえ、個人情報の取り扱いや導入経費などについて補足説明がありました。

- ★令和5年度は南木曽町のほかに上松町も導入を検討しており、共同導入が可能。導入経費は国庫補助と特別交付税の対象となるほか、導入年度は運用経費も国庫補助の対象となる。木曽町と大桑村はすでに導入済み。
- ★サービス内容は、住民票、印鑑登録証明、戸籍、所得課税証明を導入予定。
- ★個人情報保護条例におけるサービス内容は、問題ないと判断している。
- ★外部機関の電子計算機との通信回線による結合も、必要な手続きは済んでいる。
- ★セキュリティ対策として、キオスク端末は証明書の印刷後にデータを完全消去する仕様となっている。

● 質問
○ 意見・
要望など

住民票の写しなど諸証明書のコンビニ交付への質疑

- 運用経費は人口で決まっているのか、全国一律なのか。
- コンビニ交付よりも自治体同士を直接つなぎ、広域的交付を考えられないか。
- 町は今後、郵便局までシステムを導入していくことまで考えているのか。
- コンビニばかりでなく役場に機械を入れたらどうなるか。
- 他の人がマイナンバーカードを持って行けば、本人でなくとも発行されてしまうのでは。
- コンビニ交付の導入にあたり、他の自治体で大きな問題が起きた事例はあるか。

- 共同導入により、これまでの説明よりも安く導入できるということになる。
- すぐに証明書が発行できるのは非常に便利。町民に限らず町外の人にとっても、このシステムができればサービスが向上すると思う。
- 本人確認ができるかどうか、という点においてはキャッシュカードと同じ扱いであり、個人の責任である。使いたくない人は使わなければ良いと思う。
- 個人情報という点で、今まで行政の閉ざされたネットワークで行っていたものを、外部で行われることに懸念している。

- ※財務規則（入札経過の記録）
- ※建設工事事務処理規程（入札心得の修正）
- ※建設工事入札契約情報公表要領（公表の方法、公表期間の延長）
- ※最低制限価格制度実施要綱（算定方法の変更）
- ※入札及び契約事務に係る不正な働きかけへの対応に関する規程及び対応マニュアル（新規制定）

【説明概要】
不正行為の予防・防止措置として、入札契約関係書類の起案方法の見直しなどを行いました。
見直しに伴い、改正、制定した南木曽町の規則・要綱等を左に示します（括弧書きは主な改正部分）。

入札制度の適正化 (2月16日分追加)

【説明概要】

入札における最低価格などの一致が指摘された問題で、町の入札契約事務の適正化について報告がありました。

聞いて

私の思い



広瀬地域振興協議会会長
志水 保仁さん

今の南木曽町

3月になりコロナ禍も落ち着きいろいろな事業が復活して、妻籠宿などの観光客もボチボチ増えだしたように思っています。

コロナ禍の3年間大変苦労した方々も多く居られると思いますが、明るい先行きが見えるといいと願つております。

リニア計画 活発な意見を

画について活発な意見をお願いしたいといひます。南木曽町全体の問題とともに、明るい未来へ進んでいってほしいです。

今の若者たちや、今後生まれてくる子どもたちが南木曽町に住んでよかつたと思える地域づくりに少しでも広瀬地域振興協議会として貢献したいと思います。

近年、町においてリニア中央新幹線の工事が計画されています。私ども広瀬地区でも工事が計画されておりましたが、土捨て場の問題等、様々な課題が発生しております。町長をはじめ、町議会議員の皆様にも、リニア工事計



議会の傍聴にお越しください

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。詳しい日程などについては、町ホームページ、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。

※3月の議会は、3日間で12人の傍聴がありました。



編集後記

新型コロナ感染症のまん延で苦しんだ3年間、ようやくマスクも外せるときがやってきました。そんな年でも、日本四季は移り変わり過ぎてきます。今年の桜やミツバツツジは、少し早く咲いたものの、あの色あの香りは心がなごみます。

先のWBC世界野球決定戦では、日本チームは世界1位に輝きました。監督・スタッフ・選手そしてファンが一丸となり勝ち取った勝利と連日放送されていました。

町の令和5年度の予算、1年間の計画が決まり、新年度への船出となります。議会と町、一丸となって「笑顔あふれる南木曽町」、町民の皆様のための町づくりに一生懸命頑張りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。議会へのご質問ご意見もお寄せください。

議会報編集委員
早川 田中 伊藤 坂本 寿子 満
親利（記）